

看護 かごしま

NURSING

KAGOSHIMA [看護かごしま]



<https://k-kango.jp>

2022
Spring
vol.187

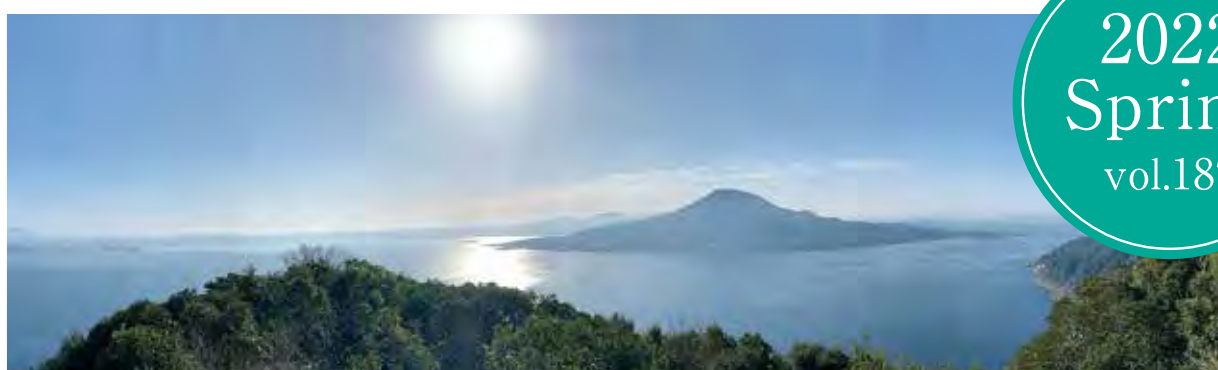


Photo:寺山公園からの桜島



Photo:春のおとずれ (桜とメジロ)

Contents

- ◆ 新年度を迎えて 2
- ◆ 令和4年度 通常総会について 3
- ◆ 鹿児島県保健看護研究学会の報告 15
- ◆ 実習指導者講習会を終えて 16
- ◆ 教育部よりお知らせ 18
- ◆ 地区だより 19
- ◆ ナースセンターだより 21
- ◆ 理事会報告 24

令和3年度鹿児島県看護協会会員数

| | |
|------|---------|
| 保健師 | 465人 |
| 助産師 | 408人 |
| 看護師 | 11,251人 |
| 准看護師 | 556人 |
| 合計 | 12,680人 |

令和4年3月31日現在



広報委員会キャラクター
「ニャン護師」

新年度を迎えて



公益社団法人鹿児島県看護協会 会長 田畑 千穂子

新緑が薫る季節となりました。鹿児島県看護協会員の皆様には、日頃より協会事業へのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年3月に本県で新型コロナウイルス感染症患者が確認され2年が経過し、看護職にとっては、気が休まらない日々が続いております。医療施設・高齢者施設でのクラスター発生は、保育園や学校と拡大し、自宅待機者や宿泊療養者らが5,000名を超えております。長引くコロナ禍において、コロナ医療を担う看護職だけでなく、在宅医療や潜在看護職などあらゆる場で従事する看護職がその職責を果たしています。さらなる感染対策防止を図りながら、地域を支えてまいりましょう。

日本看護協会の「2021年看護職員実態調査」の結果では、新型コロナウイルス感染症の影響として、7割が看護職員として働き続けたいとした一方で、20代の就業継続意向が低く、「働き続けられる、魅力ある看護の職場づくり」が求められております。看護職の勤務環境や処遇改善の実現に向けて注視していく必要があります。

さて、「看護の日・看護週間」事業の新しいキャラクターに「かんごちゃん」が決まりました。2021年9～11月の公募で集まった746作品の中から、決定しました。コンセプトは、「看護の未来への懸け橋となり、看護職を目指す若年層の皆さまの夢を叶えるキャラクター」です。LINEスタンプも購入できるようになっております。末永く宜しくお願いいたします。

2022年度は、いよいよ認定看護管理者教育コースサードレベルが開講いたします。地域医療を担う認定看護管理者の役割は大きく、その育成は重要となります。県内でのサードレベルの受講の機会をご活用ください。また、セカンドレベルがお休みになりますので、ご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

本年度の鹿児島県看護協会通常総会は、5月28日（土）本会研修会館3階で9時30分より開催予定です。午後は、四職能委員会合同集会として、公益社団法人日本看護協会の福井会長による「看護の未来を考える」と題し、ご講演頂きます。本年度は、以下の4つの重点事業と、一つの基盤強化事業に取り組んでまいります。

<重点事業>

1. 全世代型地域包括ケアを支える看護提供体制の推進
2. 地域における健康危機管理体制の強化
3. 看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進
4. 看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進

<基盤強化事業>

1. 組織強化に向けた会員サービスの強化と会員増



「看護の日」キャラクター

新規事業では、訪問看護供給体制確保推進事業における新人看護師受け入れ訪問看護ステーションと看護師養成校等とのマッチング、地域における看護職員確保事業、新たな看護の地域拠点の創出の検討、災害発生時における看護支援活動のあり方の検討等を挙げました。また、離島へき地等の施設へ遠隔システムを活用した研修も企画いたしました。

会員数が12,680人（令和3年度末）となりました。皆様から様々なご意見をいただきながら本会の事業をすすめてまいります。そして、関係団体や行政、地域とも連携を深め、県民の健康生活の向上につながるように活動してまいりますので、どうぞよろしく宜しくお願いいたします。

|| 令和4年度 通常総会について ||

令和4年度 通常総会及びプログラム

- | | | |
|-------|----------------|---------------------------|
| 9:00 | 受付 | 開催日：令和4年5月28日（土） |
| 9:20 | オリエンテーション | 場所：鹿児島県看護協会看護研修会館 3階大研修室 |
| 9:30 | 開会 | |
| | 物故会員への黙祷 | |
| | 会長挨拶 | |
| | 来賓祝辞 | |
| 9:45 | 総会開会 | |
| | 議長団の選出 | |
| | 議事録署名人選任 | |
| 9:50 | 審議 | |
| | 議題 | |
| | 第1号 | 令和3年度事業報告書の内容報告の件 |
| | 第2号 第一号議案 | 令和3年度収支決算報告（案）及び監査報告の件 |
| | 第3号 第二号議案 | 公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の選出の件 |
| | 第4号 第三号議案 | 令和4年度改選役員及び推薦委員の選出の件 |
| | 第5号 第四号議案 | 令和5年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出の件 |
| | 第6号 | 令和4年度事業計画書の内容報告の件 |
| | 第7号 | 令和4年度収支予算報告の件 |
| | 令和4年度 選挙管理委員任命 | |
| 11:20 | 新旧役員挨拶 | |
| 11:30 | 閉会 | |

令和4年度 四職能委員会合同集会プログラム

- | | | |
|-------|-----------------------------|-------|
| 12:50 | 会場受付・ZOOM 受付 | |
| 13:20 | オリエンテーション | |
| 13:25 | 開会 会長あいさつ | |
| 13:30 | 特別講演 「看護の未来を考える」 | |
| | 講師 公益社団法人日本看護協会 会長 福井 トシ子 氏 | |
| 14:30 | 休憩 | |
| 14:40 | 職能委員長による活動発表 | |
| | 保健師職能委員長 | 小田 房子 |
| | 助産師職能委員長 | 潟山 勝美 |
| | 看護師職能委員長Ⅰ | 谷川 智子 |
| | 看護師職能委員長Ⅱ | 柳田 千草 |
| 15:15 | 閉会 | |

総会要綱及び地区集會要綱の発送について

総会要綱及び地区総会要綱は、個人会員は全員、勤務先のある方は施設ごとに希望数のみ配布しております。

今年は令和元年度末にお伺いしました希望数を施設へ発送予定です。追加等ご希望の施設は当協会までご連絡ください。なお、新規施設には人数分をお送りいたします。

第一号議案 令和3年度収支決算報告(案)及び監査報告の件

令和3年度決算については、監事の監査を受けたうえで理事会（5月13日）の承認を経て、令和4年度通常総会（5月28日）に議案として提出します。（資料は当日会場で配布）

なお、理事会の承認を受けた後、決算の概要をホームページに掲載します。

第二号議案 公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の選出の件

本会定款第5条第1項3号において、名誉会員は、看護事業に顕著な功績のあった保健師、助産師、看護師又は准看護師であって理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたものとなっている。本人の了承が得られた次の1名を本会名誉会員として推薦する。

推薦者は次のとおり

●小牟田 ミドリ（こむた みどり）（80歳）

（推薦理由）

昭和33年に病院に入職され、現在まで約45年間の長きに渡り、会員として出版規約委員及び委員長、教育委員及び委員長として本協会の発展に寄与した。看護職としては、国立小倉病院に7年10か月間勤務後、県立高等看護学院、鹿児島大学医学部付属保健婦学校に進学のあと、鹿児島県の保健師として30年間勤務し、県民の健康づくりや疾病予防、在宅療養支援等に取り組んだ。県を退職後は、本協会からの推薦を受け大隅肝付広域事務組合の介護保険審査委員を17年間及び障害審査委員を14年間、地域の保険給付等に寄与した。

第三号議案 令和4年度改選役員及び推薦委員の選出の件

（理由）役員・推薦委員の任期終了により、定款及び定款施行細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

| 令和4年度 役員候補者 | | | | | |
|-------------|---------|----|--------|--------|---|
| 役職名 | 定数 | 改選 | 氏名 | 現・新 | |
| 会長 | 1 | 1 | 八田 冷子 | 新 | |
| 副会長 | 1 | 1 | 渡邊 和代 | 新 | |
| 副会長 | 1 | 1 | 田畑 知子 | 新 | |
| 専務理事 | 1 | 1 | 今村 恵 | 現 | |
| 助産師職能理事 | 1 | 1 | 湯山 勝美 | 現 | |
| 准看護師理事 | 1 | 1 | 徳永 博子 | 新 | |
| 地区理事 | 7 | 4 | | | |
| | 鹿児島地区理事 | 1 | 1 | 西野 富士子 | 新 |
| | 南薩地区理事 | 1 | 1 | 牧枝 さとみ | 新 |
| | 出水地区理事 | 1 | 1 | 新井田 香 | 新 |
| 大隅地区理事 | 1 | 1 | 近間 眞由美 | 新 | |

| 令和4年度 推薦委員候補者 | | |
|---------------|--------|-----|
| 職能名 | 氏名 | 現・新 |
| 保健師 | 塩屋 公子 | 新 |
| 助産師 | 酒匂 英子 | 新 |
| 看護師 | 神之園 初代 | 新 |
| | 後平 里奈子 | 新 |
| | 山口 さゆり | 新 |
| | 尾堂 ゆかり | 新 |
| | 久保田 直子 | 新 |

| 令和4年度 役員候補者 | | | | |
|---------------|--------|------------------------|---|---|
| 候補者紹介 | 候補者名 | 所属 | 協会活動歴 | 協会活動に対する抱負 |
| 会長 | 八田 冷子 | 前 鹿児島純心女子大学 | 保健師職能理事 2年間 会館整備に関する委員会 2年間 保健師職能委員 2年間 | 一日も早いコロナ禍や戦争の終息を願う中、この3月まで大学教員として看護基礎教育に取り組んでまいりましたが、この度、協会長の推薦を受けました。皆様と協働し、「いのち・くらし・尊厳をまもり支える看護」の実現を目指します。 |
| 副会長 | 渡邊 和代 | 鹿児島県難病相談支援センター | 保健師職能委員 2年間 川薩地区支部公益委員 2年間 | この度、副会長の推薦を受けました。コロナ禍で、医療・看護の提供に係る様々な課題が浮き彫りになり、看護職がこれほど社会から注目され、必要とされることはなかったのではないかと思います。このような状況の中、今までの経験を活かして、会員の皆様と共に考え、協会活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。 |
| 副会長 | 田畑 知子 | 医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院 | 災害看護検討委員 1年間 医療・看護安全対策検討委員 1年間 推薦委員 1年間 大隅地区書記 4年間 大隅地区副地区長 1年間 | この度、副会長の推薦を受けました。様々な現場で働く看護職が生き生きと働き続けられるよう会員の皆様の御指導・御協力をいただきながら協会活動に取り組んで参りたいと思っております。 |
| 専務理事 | 今村 恵 | 公益社団法人鹿児島県看護協会 | 専務理事 2年間 保健師職能委員 4年間 在宅ALS患者支援検討会委員 2年間 助産師出向支援事業協議会委員 1年間 | この度、2期目の専務理事の推薦を受けました。コロナ禍の中、少子高齢化は加速度的に進行し、社会生活や医療環境等も急激に変化しています。時代のニーズに柔軟に対応できるよう、新体制のもと、会長や副会長を補佐し、協会活動を推進していきたいと思っております。よろしく申し上げます。 |
| 助産師職能理事 | 湯山 勝美 | 鹿児島市立病院 | 助産師職能理事 2年間 | この度、助産師職能理事の2期目となる推薦を受けました。助産師偏在の問題と助産師の専門性発揮のため院内助産・助産師外来の開設、産後ケアの充実等に微力ではありますが、任務を果たせるように努力して参ります。 |
| 准看護師理事 | 徳永 博子 | おおぞのクリニック | なし | この度、准看護師理事の推薦を受けました。看護協会の運営、活動に皆様のご指導・ご協力をいただきながら、少しでも貢献出来る様に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。 |
| 鹿児島地区理事 | 西野 富士子 | 鹿児島市医師会病院 | 鹿児島地区公益委員・評議員 2年間 日本看護協会老年看護学会協力委員 教育委員 2年間 慢性看護学会準備委員、査読委員 | この度、鹿児島地区理事の推薦を受けました。会員の皆様のご協力をいただきながら、地区活動に取り組んで参りたいと思っております。よろしくお願い致します。 |
| 南薩地区理事 | 牧枝 さとみ | 鹿児島県立薩南病院 | 助産師職能委員 1年間 教育委員 2年間 南薩地区副地区長 1年間 | この度、南薩地区理事の推薦を受けました。初めての経験で不安ですが、会員の皆様にご指導・ご協力をいただきながら、微力ながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。 |
| 出水地区理事 | 新井田 香 | 出水郡医師会広域医療センター | 出水地区第1副地区長 2年間 | この度、出水地区理事の推薦を受けました。コロナ禍で看護協会の役割や必要性を改めて実感しております。会員の皆様のご協力を頂きながら、私も役割が果たせるよう頑張りたいと思っております。 |
| 大隅地区理事 | 近間 眞由美 | 医療法人社団春陽会 春陽会中央病院 | 大隅地区教育委員 9年間 | この度、大隅地区理事の推薦を受けました。コロナ禍の大変な時期が続いていますが、会員の皆様のご協力をいただきながら地区活動に取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。 |
| 推薦委員 (保健師) | 塩屋 公子 | 鹿児島県くらし保健福祉部国民健康保険課 | なし | この度、推薦委員として、推薦を受けました。貴重な機会をいただいたことに感謝し、皆様のご協力をいただきながら、推薦委員としての役割を果たせるよう努力いたします。どうぞよろしくお願い致します。 |
| 推薦委員 (助産師) | 酒匂 英子 | 公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院 | 推薦委員 1年間 | この度、推薦委員として推薦を受けました。皆様のご指導・ご協力を頂きながら、委員としての役割が果たせるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。 |

| 令和4年度 役員候補者 | | | | |
|---------------|--------|--------------------------|--------------------------|---|
| 候補者紹介 | 候補者名 | 所属 | 協会活動歴 | 協会活動に対する抱負 |
| 推薦委員 (看護師) | 神之園 初代 | 垂水市立医療センター 垂水中央病院 | 大隅地区教育委員 2年間 | この度、貴重な機会を頂き、不安もありますが、皆様のご指導・ご協力を頂きながら、責務を果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。 |
| | 後平 里奈子 | 独立行政法人国立病院機構 南九州病院 | なし | 初めての経験であり、不安もありますが、皆様のご指導を頂きながら、委員としての役割を果たせるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。 |
| | 山口 さゆり | いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター | なし | この度は、大変貴重な機会を頂きました。初めての経験で不安もありますが、皆様のご指導を頂きながら委員としての役割を果たせるよう頑張りたいと思います。 |
| | 尾堂 ゆかり | いづろ今村病院 | なし | 初めての経験で不安もありますが、皆様のご指導を頂きながら委員としての役割を果たせるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。 |
| | 久保田 直子 | 川内市医師会立川内看護 専門学校 | 教育委員 1年間 評議員教育委員長 1年間 | この度は大変貴重な機会をいただきました。皆様方のご協力をいただきながら、推薦委員としての役割を果たせるよう務めて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。 |

第四号議案 令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出の件

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して、代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

日本看護協会の代議員数は750名であり、都道府県ごとに正会員数に応じた割合の代議員を選出することになっており、鹿児島県看護協会の定数は12人であるので、代議員12人と予備代議員12人の選出について提案する。

なお、選出された者は、令和5年度日本看護協会通常総会に出席し、鹿児島県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に出席）として議決権を行使するものである。

| 令和5年度 代議員候補者 | | |
|--------------|---------|----------------------|
| | 氏名 | 施設名 |
| 代議員 (12名) | 小田 房子 | 鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課 |
| | 湯山 勝美 | 鹿児島市立病院 |
| | 鮫島 麗子 | 南九州さくら病院 |
| | 柳田 千草 | びっぐすまいる訪問看護ステーション |
| | 野間 久代 | 大井病院 |
| | 西野 富士子 | 鹿児島市医師会病院 |
| | 山口 さゆり | いちき串木野市医師会立脳神経外科センター |
| | 杉安 さつき | 森園病院 |
| | 妙園 和代 | 出水総合医療センター |
| | 米島 祥子 | 鹿児島県立北薩病院 |
| | 池之上 早百合 | 曾於医師会立病院 |
| | 濱田 靖乃 | 大島郡医師会病院 |

| 令和5年度 予備代議員候補者 | | |
|----------------|--------|----------------------|
| | 氏名 | 施設名 |
| 予備代議員 (12名) | 郡山 明美 | 鹿児島市長寿あんしん課 |
| | 茶園 寛美 | 医療法人愛育会 愛育病院 |
| | 原田 昌子 | 鹿児島厚生連病院 |
| | 前永 和枝 | まろにえ介護老人保健施設 |
| | 小原 しま子 | 大勝病院 |
| | 中尾 渚 | 田上記念病院 |
| | 野田 健一郎 | いちき串木野市医師会立脳神経外科センター |
| | 春口 美来 | さつま町役場 |
| | 平山 英里子 | 出水保健センター |
| | 迫田 里美 | フィオーレ第一病院 |
| | 久徳 めぐみ | 曾於医師会立病院 |
| | 坂口 一彦 | 国立療養所 奄美和光園 |

令和4年度 選挙管理委員（議長の任命）

選挙管理委員会は、定款施行細則第25条により設置されており、選挙及び選挙管理委員会に関する規程第5条により、11人をもって組織し、各地区長が推薦し、議長が任命することとなっている。任務は、同規程第7条により、選挙に関する公示、立候補又は候補者届出の受理、立候補者及び推薦候補者の公示、投票及び開票の管理等である。

なお、これらの業務を円滑に行うため、任期は、令和4年5月29日（総会の翌日）から令和5年度総会の当日までとする。

| 令和4年度 選挙管理委員名簿 | | | |
|----------------|------|---------|----------------------|
| | 地区名等 | 氏名 | 施設名 |
| 1 | 鹿児島 | 東 窪 雅 美 | かごしま高岡病院 |
| 2 | | 稲 富 沙百合 | 医療法人仁風会日高病院 |
| 3 | | 横 路 朝 美 | 公益社団法人鹿児島共済会南風病院 |
| 4 | 南薩 | 蓑 部 町 子 | 独立行政法人国立病院機構指宿医療センター |
| 5 | 川薩 | 山 田 七生美 | クオラリハビリテーション病院 |
| 6 | 出水 | 今 村 恵 子 | 出水郡医師会広域医療センター |
| 7 | 始良伊佐 | 福 永 さとみ | 鹿児島県立北薩病院 |
| 8 | | 堀之内 千夏子 | 霧島記念病院 |
| 9 | 大隅 | 八 木 美智代 | 医療法人愛誠会昭南病院 |
| 10 | | 柘木野 明 美 | 医療法人青仁会池田病院 |
| 11 | 大島 | 丸 田 保 之 | 鹿児島県立大島病院 |

令和3年度 事業報告

令和3年度は、定款第4条に基づく6つの事業や重点事業に取り組んだ。

1. 重点事業

- 1) 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進
- 2) 看護職の確保・定着と働きやすい環境づくり
- 3) 看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進
- 4) 組織強化に向けた会員サービスの強化と会員増

2. 令和3年度におけるトピックス及び主な新規取り組み

- 1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業の中止や延期、人数制限、オンラインでの開催
- 2) 新型コロナウイルス感染症に関連する看護職員の派遣調整や関係機関等との連携体制の推進
- 3) 潜在看護師の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する協力・調整
- 4) 新型コロナウイルス感染症対応看護師等の人材確保事業
- 5) コロナ禍における「看護の日・看護週間」行事による看護人材の確保を目指した取り組み
- 6) かごしま SDGs パートナー推進制度への登録
- 7) 研修管理システム（マナブル）の導入

3. 主な新規の取組

- 1) 障害者支援福祉施設等の感染防止のための相談・支援等事業の推進（新型コロナウイルス感染症関連）
- 2) 災害発生時における看護支援活動のあり方の検討
- 3) 訪問看護人材育成確保推進事業（訪問看護師の人材確保検討委員会、訪問看護講師による出前研修）
- 4) 母子支援のための地域包括ケアシステムの推進
- 5) 就業継続が可能な看護職の働き方の普及・推進
- 6) 地域における看護職員確保対策の検討
- 7) 看護業務の効率化・生産性向上のための先進事例の普及
- 8) 研修管理システムの稼働
- 9) 事業推進部の検討
- 10) 公益社団法人10周年記念誌発行の検討

2022 年度重点事業について

少子高齢化社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、病床機能分化・連携、地域包括ケアシステムの構築、医療従事者の確保・勤務環境改善等、2025 年に向け大詰め段階に差し掛かっています。国は、2021 年 5 月に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」を公布し、日看協は「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアに関するガイドライン」を作成しました。タスク・シフト／シェア推進は国を挙げた多職種が関与する大きな医療の変革でもあります。施設においても、業務の効率化を図るとともに、「患者にとっての価値」を重視した組織改革が急がれます。

さて、2 年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延により、看護職の職場環境は大きな影響を受け、看護人材不足だけでなく、健康問題や離職者の増加など、更なる課題を抱えています。そこで、2022 年度の重点事業では、昨年度の 4 つの重点事業を踏襲し継続的にすすめ、基盤強化事業も掲げました。関係団体や行政との連携をさらに強化しながら、地域医療を担う看護職の皆様をご支援してまいります。会員の皆様には、本会の重点事業を含む様々な事業活動を注視して頂ければと思います。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

令和 4 年度重点事業

1. 全世代型地域包括ケアを支える看護提供体制の推進 ★

- 1) 訪問看護提供体制の強化
- 2) 医療と介護・福祉をつなぐ看護職の連携強化
- 3) 新たな看護の地域拠点の創出の検討 ★
- 4) 地区別活動の推進とネットワークの強化

2. 地域における健康危機管理体制の強化

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する看護職の支援体制の推進
- 2) 障害者施設における感染対策強化事業の推進
- 3) 災害発生時における看護支援活動のあり方の検討

3. 看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進

- 1) ナースセンターの機能（人材確保・届け出制度・再就業セミナー事業等）の強化
- 2) 地域における看護職員確保事業の推進 ★
- 3) 「就業継続が可能な看護職の働き方」の普及・推進
- 4) 看護職の働き方改革の推進

4. 看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進

- 1) 第 3 回鹿児島看護基礎教育を考える会の開催
- 2) 看護職の生涯学習支援体制の構築に向けて
- 3) 特定行為に係る研修制度の推進
- 4) 認定看護管理者教育課程サードレベルの開催 ★
- 5) 専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者・認定看護管理者の活動の支援 ★

<基盤強化事業>

1. 組織強化に向けた会員サービスの強化と会員増

- 1) 研修管理システムの推進 ★
- 2) 看護学生に向けた意見交換会・研修会の開催（看護学生サミットの開催）★
- 3) 会員情報管理システムの広報及びシステム管理体制の強化
- 4) 鹿児島県看護協会史Ⅲの発行 ★

令和4年度事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びにその公益目的事業の推進に資するための事業等を7つの地区と連携し、次のとおり行う。

○事業（定款第4条）

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

○主な新規の取組

1. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業の推進
2. 新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業の推進
3. 新型コロナウイルス感染症対応職員離職防止相談事業の推進
4. 地域に必要な看護職確保事業の推進
5. 訪問看人材育成確保推進事業（新卒訪問看護師受入れ訪問看護ステーションと養成校とのマッチング、新卒等訪問看護師教育プログラム2・3年目の作成）
6. 認定看護管理者教育課程サードレベルの開催
7. 医療的ケア児小児訪問看護師育成研修事業の推進
8. 鹿児島県看護協会史Ⅲの発行

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

★新規

| 項目 | 内容 | 開催委員会等 |
|--|--|---|
| 1.看護教育制度に関する情報収集、広報 1)看護基礎教育について 重点4 | a)日本看護協会理事会出席 b)厚生労働省審議会等の動向把握 c)第3回鹿児島基礎教育を考える会の開催 d)看護基礎教育に係る養成校等との意見交換 | ・業務執行理事 |
| 2)保健師・助産師教育大学院化に関すること | a)保健師教育大学院に関する情報収集 | ・業務執行理事 |
| 3)准看護師の支援 | a)進学支援 b)研修支援 c)関係機関団体との連携 d)情報収集、地区等での研修支援 | ・職能委員会 ・業務執行理事 ・地区長 |
| 4)看護教員養成講習会について | a)県への要望 b)専任教員継続研修 c)看護基礎教育と継続教育の連携強化 d)行政・看護基礎教育機関との連携 | ・業務執行理事 ・業務執行理事 ・職能委員会 ・業務執行理事 |
| 2.生涯教育の充実 重点4 | | |
| 1)県協会研修会の企画と実施 ① 一般研修 (衛星放送、インターネット配信含む) | a)教育研修事業の企画、実施 b)教育研修事業の改善・検討(研修毎のアンケート調査をもとに) c)クリニカルラダーレベル研修の充実 | ・教育委員会 ・各地区長 |
| ② 職能委員会企画の研修 (県委託含む) | a)保健師研修会: 管理期等研修 複雑・多重事例の支援事例検討会に関する研修会 b)助産師研修会: アドバンス助産師交流研修会、産科管理者研修 新人助産師合同研修会 c)准看護師研修会 d)看護の将来ビジョンの具体化に向けた研修 e)在宅領域、介護・福祉施設等で働く看護師、管理者研修会 f)四職能委員会合同研修会 テーマ「地域と連携した母子のケア提供体制の構築」 | ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 I ・看護師職能委員会 II ・四職能委員会 |
| ③ 県受託・補助研修 | a)実習指導者講習会 b)特定分野における実習指導者講習会 c)専任教員継続研修(重複) d)高齢者権利擁護等推進事業における看護実務者研修 e)訪問看護師養成研修(養成(eラーニング活用・入門コース) (eラーニング受講修了者の受入) f)看護職員卒業後研修事業 g)就業相談員育成・養成研修 h)病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修 I)看護職員認知症対応能力向上研修 j)潜在助産師再就業支援セミナー | ・教育委員会 ・業務執行理事 ・ナースセンター ・業務執行理事 ・ナースセンター ・教育委員会 ・助産師職能委員会 |
| 2)地区研修の推進 | a)会員・非会員への研修支援 | ・地区長 |
| 3)地区研修の充実 | a)地区での研修の企画・実施 b)地区内でのブロック別研修の実施 | ・地区長 |
| 4)認定看護師の活用・支援 | a)研修講師及び現場支援における認定看護師の活用 | ・業務執行理事 |

| 項目 | 内容 | 開催委員会等 |
|---|---|-------------------------------|
| 3 認定看護管理者教育 1)ファーストレベル・セカンドレベル 教育事業 | a)ファーストレベル教育企画・運営 b)ファーストレベル修了生支援 c)セカンドレベルフォローアップ研修 | ・認定看護管理者教育 運営委員会 |
| 2)サードレベル教育事業 重点4 | a)サードレベル教育企画・運営 ★ | ・認定看護管理者教育 運営委員会 |
| 4 看護研究学会に関する事業 | a)学会運営委員会名称変更と機能の充実 b)鹿児島県看護研究学会の開催 c)看護研究の取組み d)看護研究支援員制度に関するアンケート調査 e)日本看護学会の開催案内 | ・学会運営委員会 ・教育委員会 ・業務執行理事 |

2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

| 項目 | 内容 | 関係委員会等 |
|--|--|---|
| 1 働き続けられる職場づくり 1)「ワーク・ライフ・バランス」の推進 重点3 | a)ワーク・ライフ・バランスの推進・広報 b)医療勤務環境改善支援センターと連携したWLBの推進 | ・ナースセンター ・職場環境改善委員会 ・四職能委員会 |
| 2)病院・施設責任者への働きかけ | a)関係者への労務管理研修 b)働きやすい組織風土作り c)労働と看護の質データベース事業(DINQL)の推進 d)就業継続が可能な看護職の働き方の普及・推進 | ・業務執行理事 ・業務執行理事 ・地区長 ・業務執行理事 ・職場環境改善委員会 |
| 3)地域における看護職員確保対策の推進 | a)地域に必要な看護職確保事業の取組み b)看護職の労働移動支援の検討 | ・業務執行理事 ・ナースセンター |
| 4)介護領域における看護機能の充実 重点1 | a)高齢者ケア施設で働く看護管理者研修 b)介護施設の看護管理者研修 c)介護施設の看護師研修 d)介護施設への講師派遣 e)介護施設における看取り研修他 | ・看護師職能委員会 II |
| 5)看護職の卒後臨床研修制度の推進 ①教育担当者フォローアップ研修 ②実地指導者研修 ③新人看護職員多施設合同研修 ④新人助産師合同研修 | a)プロジェクトチームによる研修実施 ・各施設へ研修体制の整備への支援 ・関係機関団体との連携 ・地域事業との連携、全地区で開催 | ・新人研修プロジェクトチーム ・助産師職能委員会 |
| 6)看護業務の効率化の推進 | a)看護業務の効率化・生産性向上のための先進事例の 情報収集及び普及 | ・職場環境改善委員会 ・業務執行理事 |
| 7)セカンドキャリアに向けた支援 | a)セカンドキャリア研修会 | ・職場環境改善委員会 |
| 2 看護職確保対策の推進(県委託) | | |
| 1)再就業相談事業 ①看護職員就業相談事業 | a)看護師等無料職業相談、紹介 b)看護職員需要施設実態調査 c)地区のハローワークでの就業相談 d)新型コロナウイルス感染症対応職員離職防止 相談事業の推進★ | ・ナースセンター |
| 2)潜在看護師等就業支援 ①離職者届出制度への対応 | a)離職看護師の届出制度の活用 b)再就業支援セミナー開催 c)再就業技術支援セミナーの開催 ・採血に特化した技術研修 d)再就業応援カフェの開催 e)看護人材確保・活用対策セミナーの開催 f)潜在助産師再就業支援セミナー(重複) g)セカンドキャリア支援 h)新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職 研修事業の推進★ | ・ナースセンター |
| 3)ナースセンターの強化・利用促進 ①第6次NCCSの広報・活用 重点3 | a)看護学校・養成所訪問 b)ハローワークかごしまでの相談 c)ナースセンター便りの充実 d)中・高校の進路指導教員との連携 e)職業紹介に関する関係機関との連絡調整 f)ナースセンター事業運営委員会の充実 | ・ナースセンター |
| ②アンケート結果からの事業推進 | a)定年を控えた看護職の再就業支援(研修・交流会) | ・職場環境改善委員会 |
| 4)助産師出向及び実地研修の支援 | a)助産師地域(偏在)の改善と助産師実践能力の強化 b)アドバンス助産師の取得に向けた支援 | ・業務執行理事 ・助産師職能委員会 |

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|---|---|------------------------------|
| 1 看護業務に関する看護の質の保証の推進 1) 特定行為に係る研修制度の推進 | a) 看護業務の整理・役割拡大、他職種との連携など 特定行為研修制度の広報、 指定研修機関・協力病院の確保 b) 関係機関との連携 c) 特定行為研修修了者の交流会の開催 d) 認定看護師の特定行為研修受講の推進 | ・業務執行理事 ・各地区長 |
| 2) 看護業務に関する検討 | a) 他職種との役割分担・連携について b) 地区における研究・発表 c) 看護工夫展の開催 | ・教育委員会 ・職場環境改善委員会 ・地区長 |
| 3) 看護師の資格を活かした社会貢献 | a) 看護職有償のボランティアネットワークの推進 b) 2023年国体開催に向けた救護支援者の確保 ★ | ・事務局 ・業務執行理事・各地区役員 |
| 2 職能委員会活動 1) 保健師のキャリアパスの構築 2) 助産師ラダーの推進 3) 看護師ラダーの推進 | a) 職能独自の問題の検討・提言 労働環境、業務整理、3職能の役割拡大等 新人研修、基礎教育のあり方検討 b) 新任保健師フォロー体制の充実 ★ 平成3年度のアンケート調査結果を元に検討 c) 地区との連携強化 | ・職能委員会 |
| 3 実態把握 | a) 国及び日看協の統計等の情報収集・分析 b) 看護部長等のメーリングリストの活用 c) 各地区への訪問 | ・業務執行理事 ・各委員会 ・業務執行理事 |
| 4 県等への要望活動 | a) 予算要望書の提出 b) 看護師養成課程に関する県への事業提案 | ・業務執行理事 |

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|--|--|---|
| 1 県民の健康づくり推進に関する事業 重点1 1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業 対策への取り組み ・CKD予防 ・認知症予防 ・たばこ対策の推進と普及 | a) 関係機関の連携会議等への参加・協働 体育の日健康づくりイベント参加 b) 健康相談、計測等 c) 「まちの保健室」の開催（地区事業含む） ・開催に関する意見交換 d) 他団体との連携 e) 広報活動 | ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・ナースセンター ・看護の日・週間行事実行委員会 ・各地区長 ・事業担当者 ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・業務執行理事 |
| 2) 子供・高齢者虐待予防対策への取り組み | a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席 b) 施設従事者の研修等 | ・業務執行理事 |
| 3) 生涯を通じた女性の健康支援 | a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席 | |
| 4) がん対策支援 | a) 関係機関団体との連携・委員の推薦 b) 普及啓発運動 c) 研修会の開催 d) イベント活動への参加: ピンクリボン月間 「つながる想いinかごしま」への協力 | ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・業務執行理事 |
| 5) 感染症対策支援 重点2 | a) 関係機関団体との連携 b) 新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策・支援体制 の推進(重複) | ・業務執行理事 |
| 6) 医療・看護安全に関する支援 | a) 関係機関団体との連携 b) 看護110番相談の実施 c) 医療事故調査制度に係る相談支援 | ・業務執行理事 |
| 7) 地域医療連携計画・地域医療構想への 参加 | a) 行政(県・市)の会議参加 b) 関係機関との連携 | ・保健師職能委員会 ・地区長 |
| 8) 難病・障害者支援 | a) 関係機関との連携・会議等への出席 b) 障害程度区分認定審査会委員の推薦 | ・保健師職能委員会 ・業務執行理事 |
| 9) 自殺対策 | a) 自殺予防街頭キャンペーン参加 | ・業務執行理事 |
| 2 次世代育成支援 1) 次世代育成支援事業の推進 | a) 思春期対策への取り組み、性に関する教育授業の推進 b) 啓発活動推進 c) 関係機関との連携 d) 性に関する指導の推進 e) 性教育に関する指導者育成・レベルアップ研修会 | ・助産師職能委員会 ・性に関する指導推進委員会 ・四職能委員会 ・業務執行理事 |

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|--|--|--------------------------------|
| 3 地域保健活動の推進 1) 地域ニーズに応じた保健活動 | a) 保健活動の充実、スキルアップ b) 従事者間のネットワークの強化 全国保健師職能集会、九州ブロック会議、保健師長会など c) 保健師活動指針の活用 | ・保健師職能委員会 |
| 4 介護保険制度の適切な運用の推進 1) 介護保険事業の推進 | a) 関係機関団体との連携・協力 b) 介護認定審査委員の推薦 | ・業務執行理事 |
| 5 医療介護の連携 重点1 | a) 地域での看看連携事業及び多職種連携事業の推進 b) 他職種連携研修等への参加 c) 看護職連携推進事業 | ・四職能委員会 ・業務執行理事 ・地区長 |
| 6 地域包括ケアシステムの構築 重点1 | a) 看護職の視点からの情報発信 b) 関係機関団体との連携 c) 市町村の地域包括ケアシステム構築への看護の役割発信 d) 地域での介護予防・重症化予防対策への取組 e) 母子支援のための地域包括ケアシステムの推進 f) 看護管理者会の開催の推進 ★ g) 看護小規模多機能居宅のネットワーク構築★ | ・地区長 ・業務執行理事 ・四職能委員会 |
| 7 訪問看護事業 | | |
| 1) 訪問看護相談支援事業 重点1 ①訪問看護に関わる総合相談の対応・体制整備 ②訪問看護に関わる情報収集 ③訪問看護の質の向上 | a) 訪問看護相談支援センターの継続 b) 訪問看護師研修支援 c) 診療報酬改正などの相談 d) 地区での訪問看護研修支援 | ・訪問看護ステーション |
| 2) 「訪問看護ステーションかごしま」に関する事業 ①事業の適正運営・ICT化 ②経営基盤の強化 ③広報活動(地域住民、会員・会員外への事業紹介) ④ネットワークづくり | a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 訪問看護ステーションかごしまの機能強化(運営委員会での検討) c) 訪問看護の質・技術の向上・ICT化 d) 関係機関・関係団体の連携・協力 e) 看護師・看護学生・訪問看護ステーション・医学生の実習受け入れ f) 地域のニーズの把握 g) 保険外サービスの提供 | ・訪問看護ステーション |
| 3) 居宅介護支援事業所に関する事業 ①居宅介護支援事業所の適正運営 ②関係機関・関係団体との連携協力 | a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 医療保険制度改正に関する情報収集 c) ケアマネジャーの質・技術向上 | |
| 4) 訪問看護供給体制確保推進事業 重点1 | a) 訪問看護師の人材確保・育成及び訪問看護提供体制等の検討 b) 訪問看護に係る調査結果を踏まえた医療機関・事業所間の意見交換・交流会等の実施 c) 新卒訪問看護師受入れ訪問看護ステーションと養成校とのマッチング ★ d) 訪問看護講師養成研修会受講者等による研修と個別相談 e) 訪問看護総合支援センターに関する検討 | ・業務執行理事 ・訪問看護ステーション |
| 5) 医療的ケア児小児訪問看護師育成事業の推進 ★ 重点1 | a) 座学・実技研修 b) 実施研修: 医療機関実習、訪問看護実習 | ・業務執行理事 ・訪問看護ステーション |
| 8 医療看護安全に関する事業 | | |
| 1) 医療・看護安全対策に関する情報収集 | a) 地域における取り組みに関する情報収集と支援 ・医療安全ネットワーク病院連絡会の開催 b) 日本看護協会関係会議への参加 | ・地区ネットワーク病院 ・医療・看護安全対策検討委員会 |
| 2) 医療安全管理者の養成と質の向上 | a) 医療安全管理者養成研修(eラーニング) 日本看護協会のプログラムへ変更 ★ b) 医療安全管理者養成研修(eラーニングの集合研修) | ・医療・看護安全対策検討委員会 |
| 3) 関連機関団体との連携促進 | a) 医療事故調査制度支援団体等協働研修会の開催 b) 院内医療事故調査実施に伴う調査支援員の派遣 c) 医療事故調査支援団体の周知 | ・業務執行理事 ・医療事故調査支援委員 |
| 9 災害時における活動体制の推進事業 | | |
| 1) 活動体制等の整備 | a) 災害対応マニュアルの周知 b) 災害支援ナース登録の推進 個人登録から施設登録へ変更の検討 ★ c) 支援活動に必要な物品の整備 d) 事業継続計画の見直し e) 災害発生時における感染対策を視野に入れた看護支援活動のあり方の検討 | ・業務執行理事 ・災害看護検討委員会 |
| 2) 災害看護に関する研修の企画実施 | a) 災害看護研修の地区研修を開催 b) 災害支援ナース育成研修part1、part2研修 c) 災害看護レベルアップ研修の開催 ★ d) 関係機関との連携 | ・地区長 ・災害看護検討委員会 ・業務執行理事 |

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|--|--|--|
| 3) 災害訓練 | a) 日本看護協会、鹿児島県、鹿児島市等との合同防災訓練への参加 b) 県医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携 c) 会員・災害支援ナースの周知 | ・災害支援ナース ・事務局 ・災害看護検討委員会 ・災害支援ナース |
| 4) 救護活動 | a) 地区におけるイベント時の救護 b) 災害支援、ネットワークづくり c) 県・鹿児島市との災害協定に基づく検討 | ・業務執行理事 ・地区長 ・災害看護検討委員会 |
| 10. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等 人材調整事業の推進 重点2 | a) 人材調整に必要なニーズの把握 b) 県内・県外応援派遣者可能者のリストアップ 医療機関への協力依頼、潜在看護師応募 c) 派遣の必要な施設や日本看護協会からの相談による把握と 派遣調整(マッチング) | ・業務執行理事 |
| 11 障害者支援福祉施設等の感染防止の ための相談・支援等事業の推進 重点2 | a) 新型コロナウイルス感染症に関する相談対応 b) 研修会、意見交換会等 c) 感染管理認定看護師による現場支援 | ・業務執行理事 |

5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|--|----------------------------------|---|
| 1 看護の日・看護週間の推進 | a) 看護の日・週間行事 | ・業務執行理事、地区長 ・看護の日・週間行事実行委員会 ・業務執行理事 |
| 2 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等 人材調整事業(特に広域調整)の推進(重複) | a) 日本看護協会からの相談による把握と 県外への派遣調整 | |

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------|------------------------|---------------|---------------|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|----|-------|-------|-------|-------|----|-----|-----|-----|-----|---|--------|--------|--------|--------|---|
| 1 基盤強化事業 1) 協会組織の強化 ①入会促進 ②地区との連携強化 ③施設代表者会議 ④看護師等養成校との連携 | a) 各事業・研修を通してのPR活動 b) 看護協会ホームページ・広報紙の充実 ・会員専用のページの充実 c) 県医師会との連携 d) 地区長情報交換会 e) 看護学校行事(入学式への祝電・戴帽式・卒業式等) への出席、教育協議会への参加 f) 看護学生等との交流会 g) 令和4年度入会率40%目標を目指す 表: 地区毎の数値目標 (単位: 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>兼定時の会員数 (H24. 7. 5)</th> <th>令和2年度末 会員数</th> <th>令和3年度末 会員数</th> <th>令和4年度末 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>5,341</td> <td>6,446</td> <td>6,571</td> <td>6,700</td> </tr> <tr> <td>南薩</td> <td>791</td> <td>838</td> <td>859</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>川薩</td> <td>644</td> <td>692</td> <td>685</td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>出水</td> <td>510</td> <td>480</td> <td>493</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>始良伊佐</td> <td>1,337</td> <td>1,529</td> <td>1,546</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>1,562</td> <td>1,632</td> <td>1,584</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>大島</td> <td>672</td> <td>722</td> <td>740</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,857</td> <td>12,339</td> <td>12,478</td> <td>12,705</td> </tr> </tbody> </table> <small>※県外および転居先不明の202名は、上記には含まれません。</small> | 地区名 | 兼定時の会員数 (H24. 7. 5) | 令和2年度末 会員数 | 令和3年度末 会員数 | 令和4年度末 目標 | 鹿児島 | 5,341 | 6,446 | 6,571 | 6,700 | 南薩 | 791 | 838 | 859 | 870 | 川薩 | 644 | 692 | 685 | 690 | 出水 | 510 | 480 | 493 | 495 | 始良伊佐 | 1,337 | 1,529 | 1,546 | 1,600 | 大隅 | 1,562 | 1,632 | 1,584 | 1,600 | 大島 | 672 | 722 | 740 | 750 | 計 | 10,857 | 12,339 | 12,478 | 12,705 | ・業務執行理事 ・会員管理担当者 ・業務執行理事 ・地区長 ・業務執行理事 ・地区 ・各委員会 |
| 地区名 | 兼定時の会員数 (H24. 7. 5) | 令和2年度末 会員数 | 令和3年度末 会員数 | 令和4年度末 目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島 | 5,341 | 6,446 | 6,571 | 6,700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南薩 | 791 | 838 | 859 | 870 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 川薩 | 644 | 692 | 685 | 690 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出水 | 510 | 480 | 493 | 495 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 始良伊佐 | 1,337 | 1,529 | 1,546 | 1,600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大隅 | 1,562 | 1,632 | 1,584 | 1,600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大島 | 672 | 722 | 740 | 750 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 10,857 | 12,339 | 12,478 | 12,705 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) ナースシップへの対応 | a) 会員へナースシップの広報強化 b) キャリナース登録の推進 | ・業務執行理事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 円滑な組織運営 ①公益社団法人としての整備 | a) 公益移行後の組織整備 文書管理規則の見直し b) 顧問弁護士の活用 c) 研修管理システムの推進 d) 事業推進部の検討 | ・事務局 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②県看護協会会議の定期開催 | a) 事業目的達成に向けて各会議・委員会の連携・強化 ・通常総会 ・四職能委員会合同集会 ・理事会 ・運営委員会 ・職能委員会 ・常任・特別委員会 ・事業検討会 ・研究倫理委員会 ・県看護連盟との協議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 項 目 | 内 容 | 関係委員会等 |
|------------------------------------|---|-----------------------------|
| ③地区関係会議 | ・地区集会 ・評議委員会 ・評議委員会への業務執行理事の参加 | ・地区長 ・担当委員 ・業務執行理事 |
| ④日本看護協会関係会議への参加 | a) 日本看護協会との連携を密にし重点事業の目的達成を図る ・日本看護協会通常総会・職能別集会 ・法人会・都道府県職能委員長会 ・九州地区法人会・連絡会・職能委員長会 ・担当者会議 | ・職能委員長 ・理事・職能委員長 |
| ⑤役職員の資質向上のための研修・学会参加 | | |
| ⑥会員情報登録管理 | a) 会員情報管理の効率化 b) 会員情報管理の精度向上 | ・会員管理担当者 |
| ⑦館内外情報管理 | a) 館内ランのセキュリティ対策 b) 外部情報のセキュリティ対策 | ・事務局 |
| ⑧災害時の対応 | a) 火災・地震等発生時の研修生避難の検討、訓練 b) 事業継続計画の見直し及び体制整備 | ・事務局 |
| 2 広報活動 | | |
| 1) 地域住民、看護職及び会員への 情報提供活動 | | |
| ①広報紙の発行 | a) 「看護かごしま」の充実 | ・業務執行理事 ・広報委員会 |
| ②ホームページの定期的改善 | b) 新コーナーの検討 会員専用ページの充実 | ・地区長 |
| ③本会事業関連冊子の作成と普及 | c) ホームページ・看護かごしまへの各委員会活動等の 掲載の徹底 | ・職能・常任・特別委員会 ・事務局 |
| | d) 女性団体連絡協議会との連携 | |
| | e) 入会パンフレットの普及 | ・業務執行理事 |
| 2) 社会への広報強化 | | |
| ①関係機関・団体を通じた広報活動 | a) 社会・マスコミへ向けた活動 | |
| 3) 「看護の日・看護週間」行事による 看護人材の確保を目指す | a) 県民への広報 主に若年層(小中高生)、進路選択に影響を 与える保護者・教員を対象 | ・事務局 ・看護の日・週間行事 実行委員会 |
| ①キラリ! 看護のシゴト写真・パネル展 看護体験コーナーの設置 | b) 中学生・高校生のふれあい看護体験の募集・実施、 施設への呼びかけ | ・業務執行理事 |
| ②「ふれあい看護体験」 | c) 看護の出前事業の募集・実施、学校への呼びかけ | ・ナースセンター |
| ③「みんなで話そうー看護の出前授業」 | d) 報告書の作成と配布 | ・地区長 |
| ④「看護への道」進路相談 | | |
| 3 会員支援に関する事業 | | |
| 1) 看護職賠償責任保険制度加入促進 | a) 研修会時の広報 | ・業務執行理事 ・医療・看護安全対策検討委員会 |
| 2) 会員の福利厚生 | a) 各種表彰制度への会員の推薦 b) 慶弔・災害見舞制度の運用 c) 災害支援ナース傷害保障保険加入 d) 役員・委員の傷害保険加入 e) テーマパークの入場料助成等 f) 研修ポイント制の広報及び利用促進 | ・業務執行理事 ・事務局 |
| 4 施設管理に関する事項 | | |
| 1) 鹿児島県看護研修会館の管理 | | |
| ①建物整備の管理・運営 | a) 定期的保守修繕 b) 会館設備充実 | ・事務局 |
| ②看護研修会館建設準備委員会開催 | a) 会館建設に伴う課題の集約、検討 | |
| 2) 図書室管理・運営 | | |
| ①文書・文献等の充実 | a) ホームページでの新規図書、雑誌紹介・図書検索 日本看護協会最新看護牽引Web | ・事務局 |
| ②文献検索体制の整備 | b) 雑誌、ビデオ、DVDなどの整理 c) 教育環境の整備 | |

重点3

第55回 鹿児島県保健看護研究学会の報告「3つの新鮮な出来事」

学会委員会委員長
鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻

清水 佐智子

感染拡大により急遽、対面からハイブリッド形式、発表者のみの来場となりましたが、2022年1月22日(土)に114名の参加により開催されました。今回3つの「新鮮な出来事」がありました。1つ目は、減少傾向だった演題数が23題と増え、活性化が図られたことです。2つ目は、保健師、訪問看護師、訪問助産師の方からの発表があった点です。3つ目は、シンポジウム「地域包括ケアにおける多職種連携について」の開催です。これらにより、視野を広く持つことや情報交換の大切さ、看護の原点を押さえつつ多職種で協力して改革に取り組むことの重要性を、多くの方がお感じになったのではないのでしょうか。

最後に、田畑看護協会長から、奨励賞と記念品が2名の方に贈られました。機器の接続の不具合や、音声が聞こえにくいなどの不備があり、申し訳ありませんでした。次年度から名称が「鹿児島県看護研究学会」となります。みなさんがお聞きになりたいと思う演者からの特別講演、シンポジウムの開催、不具合防止対策を実施していきます。抄録は7月1日頃から受け付けますので、「新鮮な出来事」を一緒に楽しみませんか。ご応募をお待ちしています。

Web開催
口演者発表



初シンポジウム開催
「多職種連携」

開催の形式変更で示説
13題は、会場掲示の
みとしました。



実習指導者講習会を終えて



クオラリハビリテーション病院あいら

松崎 綾

令和3年11月22日に開講式が行われ、順調に研修を受講していた中、今年に入り新型コロナウイルス感染者数が急激に増えていきました。オンラインへの切り替えを検討しながらの受講となりましたが、本日無事閉講式を迎える事が出来ました。

今回の研修では看護教育課程の改正から、臨地実習の意義、教育心理等、本当に多くの事を各専門分野の講師の先生から学ばせて頂きました。

その中で、私が特に印象に残っている事は実習指導者の役割です。私の学生への指導者としての課題は、学生の考えの引き出し方、良い発問の仕方がわからない事でした。以前の私は、「学生から学ぶ姿勢を見せるべき」「指導者や他スタッフは業務優先だから、学生への関わりが不十分でもしょうがない」と自分中心の考えで実習指導を行っていました。しかし、講義で学習の中心は学習者である事・教える側が変われば学ぶ側も変わる事・学習者は自分を映す鏡である事等、学生の立場や教えるとは何かを学び、今までの私の受け入れ体制が間違っていた事に気づきました。また学生は成功体験を積む事で看護観を深め意欲向上に繋がる、その成功体験は看護師が「できたね。よく理解しているね。」といった言葉を直接伝える事が出来る臨地実習でしか経験できないという事も学び、実習指導者の役割は重要である事を理解しました。そして私から歩み寄り、学生を知る努力をする事で、個々の学生に合わせた言葉かけや発問が生まれるのではないかと、課題に対する方向性を導き出す事が出来ました。

今後は、研修での学びを自分の能力として身につけられるように、指導方法の実践・評価を行う事と、臨地実習は学生にとって既習知識と体験を結びつける大事な学習の場であり、「後輩を育てる気持ちでチームの一員として学生を受け入れる事が重要である」と現場の職員に伝える事に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、今回の長期研修を受講生全員で修了出来た事、本当に嬉しく思います。またご指導ご助言を頂きました講義・演習支援の先生方、研修の機会を与えて下さった看護協会の方々に深く感謝致します。ありがとうございました。



5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に

きらり！ 看護のシゴト 写真・パネル展開催

開催期間 2022年5月8日(日)～14日(土)

場所：イオンモール鹿児島

2Fスプレイプレミアム前ブリッジ



内容 看護師・保健師・助産師の働く職場、救命救急の現場、患者様やそのご家族に寄り添う様子など、看護師たちの活動の様子を写真でご紹介いたします。



イベント開催します！

開催日 2022年5月8日(日)

10:00～16:00

看護体験や看護職になるための進路の紹介コーナーを設置します。是非、お気軽にお立ち寄りください。



会員施設の管理者・看護職の皆さま

災害支援ナース募集

鹿児島県看護協会では、災害支援ナース登録者が143名(R4年3月末現在)です。被災地の力になれるよう平時から備え、一人でも多く方に災害支援ナースへのご登録をお願いいたします。

災害支援ナースの役割

被災した医療施設や社会福祉施設・避難所等において、直接的活動を行い、被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療・看護を提供する。また、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるように努める。



R3年度桜島総合防災訓練

登録の要件

- 県看護協会の会員であること。
- 実務経験年数が5年以上であること。
- 所属施設管理者の承諾があること。
- 災害支援ナース育成研修を受講していること。
- 定期的に企画される研修会及び防災訓練等への参加が可能であること。

災害支援ナース育成研修

- 9/2(金)～9/3(土) 応募期間 7/16～7/31
「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～」
 - 日程調整中
「鹿児島県看護協会災害支援ナース育成研修」
 - R5.2/25(土) 応募期間 1/1～1/15
「災害看護レベルアップ研修」
- ★研修を受講いただき、ぜひ災害支援ナースへご登録を!!!

お問い合わせ先

鹿児島県看護協会 総務部

TEL：099-256-8081

✉ kna-saigai@dune.ocn.ne.jp

教育部よりお知らせ

いつも研修等の運営につきましてはご協力いただき、感謝申し上げます。

マナブル導入後2年目となり、まだまだ課題はありますが、少しずつ機能も改善されつつあります。マナブル提供会社（イトラ）とも相談しながら、また皆様のご意見もお聞きしながら、さらに活用しやすいようにしていきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

1. 令和4年度教育冊子をお送りしたところですが、いくつか誤りがありました。お詫び致しますと共に、下記の通り訂正をよろしくお願い致します。

| 頁数 | (誤) | (正) |
|----------|--|--|
| P18 6段目 | 「6 オンデマンド研修 特定行為看護師の役割」 | 「6 オンデマンド研修 特定行為看護師の役割と実際」 |
| P20 2段目 | 「21 高齢者権利擁護等推進事業～」 講師 ⑤松崎富士見 | 講師 ⑤松崎富士見 |
| P21 最下段 | 「36 看取りの看護」 講師 訪問看護ステーションあすなる 松若元子 | 講師 川内市医師会訪問看護ステーション 松若元子 |
| P22 11段目 | 「47 シミュレーション研修」 講師 内藤 千佐子 | 講師 内藤 知佐子 |
| P22 最下段 | 「48 実習指導者講習会」 申込期間 4/4～4/28 | 申込期間 9/16～9/30 |
| P23 3段目 | 「52 看護教員継続研修(新任期)授業案」 教員歴3年未満 | 「52 看護教員継続研修(新任期)授業案」 教員歴5年未満の方が対象 |
| P26 最下段 | 「85 性に関する指導推進委員会研修会」 ねらい 「②課g扱い真健若年～」 講師 鹿児島大学保健学科教授 根路銘安仁 | 「85 性に関する指導者研修会 第1回研修会」 ねらい 「②鹿児島県若年～」 講師 ①県庁子ども家庭課技術補佐保健師 ②鹿児島大学医学部保健学科教授 根路銘安仁 |
| P27 上段 | 「86 性に関する指導推進委員会研修会」 講師 鹿児島市教育委員会保健体育課指導主事 塩入智子 | 「86 性に関する指導者多職種交流会 第2回研修会(多職種交流会)」 活動報告 ①LGBTQ当事者(検討中) ②開業助産師 西原ひとみ ③始良市立三船小学校養護教諭 塩入智子 |
| P29 中段 | 「始良伊佐 第4回研修会」 会場 県立北部病院 | 会場 県立北薩病院 |
| P32 中段 | 「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」 受講料 会員 22,000円 非会員 44,000円 | 受講料 会員 21,000円 非会員 42,000円 |
| P33 7段目 | 「高齢者権利擁護推進事業における～」 高齢者の摂食・嚥下のメカニズム 講師 鹿児島市医師会病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 松尾 晴代 | 講師 社会医療法人緑泉会 米盛病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 松葉 正晃 |
| P62 6行目 | 「認定看護管理者教育課程サードレベル」 事前課題レポート 1400文字以内 | 800～1000文字以内 |

2. これまでマナブルの使用マニュアルは、鹿児島県看護協会ホームページに掲載しておりましたが、今年度よりマナブルのトップページに掲載しておりますので、ご活用ください。

教育に関するお知らせ等につきましては、マナブルだけではなくホームページにも掲載致しますので、併せてご活用ください。

地区だより

出水地区

教育委員会の活動報告

令和3年度出水地区教育委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、特別講演は中止としましたが、その他予定していた研修会は日時を変更し実施しました。研修を開催する際は会場を分散化し感染予防対策を行い状況に合わせて3回の実施と1回の資料配布としました。第一回目は8月7日「フィジカルアセスメント」を実施。事例を取り入れた研修で実務に反映しやすく大切なところは繰り返し講義があり、理解しやすく大変勉強になったとの意見が多数聞かれました。第二回目は10月16日「災害看護」を実施。地域の特性を踏まえた研修になっており講義内容が理解しやすかったとの意見が聞かれました。また、自施設のBCPを見直す良い機会となったとの意見も聞かれました。第三回目は12月4日「看取りのケア」を実施。症例の紹介もあり患者さんや家族との関わり方、向き合い方を見直す機会となったようでした。第四回目は1月24日医療安全との合同研修である「基本的な感染予防と新型コロナウイルスの現状」を予定しましたが、1月開催は出来ず研修方法を検討し資料配布へと変更しました。



毎回、40名前後の参加者がありました。次年度も新型コロナウイルス感染症の動向に合わせた研修形式を検討し出水地区の看護職の資質向上のため、実践に活かせるような教育活動をしていきたいと思っております。

委員長 大下本 亜由美

地域ケアサービス委員会活動報告

令和3年度は昨年同様新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画されていたイベントが中止となりました。令和3年12月に出水総合医療センター主催の市民講座「新型コロナウイルス感染症～正しい情報と正しい対策」に参加させて頂き、市民の方々と一緒に血圧測定、酸素飽和度測定を行いました。手指消毒の体験、指導に関しては講座での知識と実践で効果的だったのではと思います。

今回看護学生方の参加があり和んだ雰囲気の中、市民講座を終了することができました。来年度は活動内容や方法を更に工夫し取り組んでいきたいと思っております。



委員長 前田 恭子

医療安全ネットワーク委員会活動報告

出水地区における医療安全管理担当者の情報共有と資質向上を図ることと、協会員・非協会員を含めての医療安全教育と資質の向上を図ることを目的に企画・運営を行い活動しています。

2021年度は、感染予防対策を考慮しWeb上での会議・研修会を開催し、「経腸栄養分野についての現状」や「転倒転落予防について」の研修会を行いその後Web上で情報交換や検討を行いました。地域関連施設の経腸栄養の現状が理解でき、物品の種類や操作手順、専用コネクタの使用法や接続部の詰まりの原因や洗浄方法など情報共有できました。転倒転落予防対策についても情報共有ができ学び・検討する場となりました。今後も医療安全に関する情報共有と知識の向上ができるように工夫し、気軽に相談



経管栄養の変換コネクタ

できる関係づくりを目指して取り組んでいきたいと思っております。

委員長 中村 富士子

大島地区

教育委員会の活動報告

大島地区教育委員会では「専門職の実践能力向上のための教育研修の充実」を目標に活動しています。年間5回の教育研修を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い6月に第1回特別研修、7月に第2回感染研修の2回のみの実施となりました。感染研修は61名の参加があり関心の高さがうかがえ「日々の業務の見直しやマニュアルの整備、スタッフ教育に活用できる」と感想がきかれました。長期化するコロナ禍、今後は感染対策に留意してZoomを使ったweb参加方式を併用するハイブリッド方式研修等を検討していきたいと思ひます。



委員長 富丸 千奈美

地域ケアサービス委員会活動報告

大島地区地域ケアサービス委員会では、地域に根ざした看護協会活動を目指しています。

活動内容としては、例年「まちの保健室」「奄美市進路ガイダンス」「施設訪問」「大和村福祉まつり」「奄美市学びフェスタ」などがあげられますが、昨年夏からの新型コロナウイルス感染症の相次ぐクラスター発生においてイベントが相次いで中止や延期となりました。



今年度より新企画である小・中・高校生対象に実施されている『性と生命の問題』～産婦人科医の視点から～の医療講演に参加することができました。

離島医療の現状をはじめ、生命の成り立ちから尊さを名瀬徳洲会病院産婦人科小田切幸平医師による講話、クイズ方式による生命誕生の仕組み、胎児模型を使い実際に新生児の成長を確認、また妊婦体験を行いました。看護協会地域ケアサービス委員も医療や看護に興味ある生徒さん達への積極的な声掛けを行いました。

思春期の多感なこの時期に、産婦人科医師による正しい性・生命の知識の講演を通し自らの誕生や命の尊さを再度認識でき、医療や看護に興味をもってもらう講演となったと思ひます。

次年度も看護協会の活動内容の周知拡大と行政、地域の方や他職能団体との交流を図り連携を密にしていきたいと思ひます。

委員長 藤山 レイ

医療安全ネットワーク委員会活動報告

大島地区のネットワーク担当病院と各施設の安全管理者との連携を図り、相互の情報提供・相互支援を通して看護の安全対策や医療事故防止対策を行うことを目的に7施設が参加し、年4回の会議、1回の研修会を開催しています。

今年度の研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の観点からオンライン研修を計画し、各施設での配信とした研修会を開催、「記録の重要性が理解できた」「興味のある内容」「看護職だけでなく多職種も必要」との参加者の感想が聞かれました。

今後も地域のネットワークを強化し、大島地区の医療安全の質の向上と施設間の連携に取り組み、施設参加推進を検討していきたいと思ひます。

委員長 正岡 ゆかり

評議委員会から

大島地区は昨年夏、新型コロナウイルス感染症の相次ぐクラスター発生において評議委員会では情報交換し感染予防に努めていました。が、今年初め爆発的な感染拡大は想像をはるかに超え、予定していた全ての事が相次いで中止や延期などやむを得ない状況に陥りました。その中で「少しでも地域に…」という思いで地域ケアサービス活動が出来ましたことはうれしい限りでした。今後も予断を許さない先の見えない戦いがありますが一致団結し地域に根差した活動を取り組んでまいりたいと思ひます。

地区長 正岡 ゆかり

ナースセンターだより



Vol. 140

「eナースセンター」は
看護職の無料職業紹介事業所です。
ご登録はこちらから。



離職時の届出が努力義務となりました。
職場を退職された時には
「とどけるん」への登録をお願いします。



研修事業

令和4年度の研修事業は以下のとおりです。

詳細は協会のホームページ及び令和4年度教育計画冊子をご参照ください。



| 研 修 名 | 目 的 | 対 象 者 | 開 催 予 定 日 |
|--|---|-----------------------------------|--|
| 再 就 業 支 援 セ ミ ナ ー | 就業に向けて必要な知識と技術を学び、看護実践力と就業意欲を高め、職場復帰を容易にする | 1年以内に就業を希望している求職者 | 10月25日(火) 11月22日(火) 12月6日(火) |
| 再 就 業 技 術 支 援 セ ミ ナ ー (採血) | 再就業を目指す未就業看護職が、特定の看護技術(採血等)を習得することにより容易に職場復帰できることを支援する。 | 未就業で3ヶ月以内に就職を希望している看護職 | 偶数月第4木曜日 |
| 再 就 業 応 援 セ ミ ナ ー | 求人施設と求職者の交流を通して、看護の領域の多様性について認識を深め、求職活動の動機づけとする | 県内就業を希望する未就業の看護職 | 1回目:鹿児島市 10月25日(火) 2回目:鹿児島市以外 1月 予定 |
| 潜 在 助 産 師 再 就 業 支 援 セ ミ ナ ー | 未就業の助産師、就業1年未満の助産師を対象に、最新の産科医療等の現状や安全管理等の講義演習及び実習を行う | 未就業の潜在助産師 (新人助産師合同研修共同開催) | 11/15(土) 11/22(火) 11/26(土) 12/10(土) 12/24(土) |
| 看 護 人 材 確 保 ・ 活 用 対 策 セ ミ ナ ー | 看護職の人材確保において、看護職が魅力を感じる職場作りや情報発信について考える | 採用担当者 看護管理者 | 9月中旬に調整中 |
| 訪 問 看 護 師 養 成 研 修 1)「訪問看護eラーニング」を活用した研修 2)訪問看護師養成「入門コース」 | 1)在宅で療養生活に必要な知識・技術を習得し、質の高い訪問看護サービスが提供できる訪問看護師を養成する 2)訪問看護を目指す看護職を育成する | 訪問看護を始めようとしている者や従事している者、興味・関心のある者 | 1) 5月13日(金) ~12月17日(土) 2) 5月13日(金) ~9月3日(土) |
| 救 護 者 養 成 研 修 | イベント等の救護活動業務従事に際し、看護専門職として急病等に対する応急手当の知識と技術を学び実践対応できる | 未就業でイベント等の救護活動業務に従事希望する看護職 | 7月中旬に調整中 |

令和4年度 ハローワークにおける看護職員就業相談日予定表

鹿児島県ナースセンターでは平成27年度より地域のハローワークに協力をいただき、毎月、看護職の就業相談を開催しております。これまで800名以上の看護職にご利用いただいております。看護職として経験豊富な相談員が「看護職として復職したい」「ブランクがあるので不安」「WLBにあった仕事を探したい」「看護の資格を取りたい」など様々な相談に、アドバイスなどを行います。詳しくは鹿児島県ナースセンター又は各ハローワークにお問合せ下さい。相談無料です。(原則予約不要)



令和4年度の各ハローワークの相談日

*網掛けの部分は祭日などの関係から日程が変更となっております

| ハローワーク | 相談日 | 時間 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|-----|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 指 宿 | 第3火 | 13:30~16:30 | 19 | 17 | 21 | 19 | 16 | 20 | 18 | 15 | 20 | 17 | 21 | 14 |
| 加世田 | 第2水 | 13:30~16:30 | 13 | 11 | 8 | 13 | 10 | 14 | 12 | 9 | 14 | 11 | 8 | 8 |
| 川 内 | 第3火 | 13:30~16:30 | 19 | 17 | 21 | 19 | 16 | 20 | 18 | 15 | 20 | 17 | 21 | 14 |
| 伊集院 | 第2火 | 14:00~17:00 | 12 | 10 | 14 | 12 | 9 | 13 | 11 | 8 | 13 | 10 | 14 | 14 |
| 出水 | 第3火 | 13:30~16:30 | 19 | 17 | 21 | 19 | 16 | 20 | 18 | 15 | 20 | 17 | 21 | 14 |
| 国 分 | 第2月 | 9:00~12:00 | 11 | 9 | 13 | 11 | 8 | 12 | 17 | 14 | 12 | 16 | 13 | 13 |
| かのや | 第3木 | 8:45~11:45 | 21 | 19 | 16 | 21 | 18 | 15 | 20 | 17 | 15 | 19 | 16 | 16 |
| 大 隅 | 第3木 | 8:45~11:45 | 21 | 19 | 16 | 21 | 18 | 15 | 20 | 17 | 15 | 19 | 16 | 16 |
| 志布志 | 第3水 | 10:00~12:00 | 20 | 18 | 15 | 20 | 17 | 21 | 19 | 16 | 21 | 18 | 15 | 15 |
| 熊 毛 | 随時 | 14:30~16:30 | 20 | | | | | 21 | | | | | | |
| 名 瀬 | 第3火 | 14:00~17:00 | 21 | 19 | 16 | 21 | 18 | 15 | 20 | 17 | 15 | 19 | 16 | 16 |
| 鹿児島 | 第3木 | 13:30~15:30 | 15 | 20 | 17 | 15 | 19 | 16 | 21 | 18 | 16 | 20 | 17 | 17 |

再就業技術支援セミナー報告

鹿児島県ナースセンターでは再就業を希望する看護職の皆様を対象に採血技術等の研修を実施しています。令和3年度は新型コロナワクチン接種に従事を希望される方を対象とした筋肉注射の研修も実施しました。令和3年度の研修の状況は以下のとおりです。

【採血技術研修】

開催数 10回 (定期開催:5回、個別開催:5回)

受講者数 24名 (定期開催:18名、個別開催:6名)

令和3年度は奇数月の第4木曜日に定期開催し、就業が間近の方には個別で研修を行いました。10年以上のブランクのある方が半数でしたが、研修で自信を得て、就業に前向きになれたと感想をいただいています。

【新型コロナワクチン接種に関する技術研修】

開催数 7回 受講者数 214名

新型コロナワクチン接種に従事希望の看護職を対象とした筋肉注射の技術研修を開催し214名の方が受講されました。研修を受講後107名の方がワクチン接種業務に従事されました。

| | | | | | | | |
|------|----------|--------|------|------|------|-----|------|
| 開催日 | 4/21 | 6/7 | 6/14 | 6/21 | 6/28 | 8/5 | 8/12 |
| 受講者数 | 100名 | 21名 | 29名 | 24名 | 23名 | 9名 | 8名 |
| 場 所 | 県民交流センター | 看護研修会館 | | | | | |

*4月21日は鹿児島県と協同で開催

受講料無料



令和4年度の採血技術研修は偶数月(第4木曜日)に開催予定です。

働きたいと思っているすべての看護職の皆さん、ブランクがあり採血等の看護技術に不安をお持ちの皆さん、是非、研修に参加し、新しい職場にチャレンジしませんか!

【ナースセンター登録状況報告】

令和3年12月～2月の鹿児島県ナースセンターへの求人登録・求職登録及び再就業の状況は以下のとおりです。
令和3年9月より登録者への定期的な求人情報の配信に加えて、新規登録求人の一斉メール配信が始まりました。
新しい求人を速やかに確認できるシステムになっておりますので、是非御利用ください。

表1 有効求人数

(人)

| | 職種別 | | | | | 雇用形態別 | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-----|-----|------|
| | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 合計 | 常勤 | 非常勤 | 臨時 | 合計 |
| 12月 | 19 | 61 | 846 | 87 | 1013 | 755 | 181 | 77 | 1013 |
| 1月 | 16 | 33 | 864 | 83 | 996 | 720 | 208 | 68 | 996 |
| 2月 | 26 | 33 | 895 | 92 | 1046 | 721 | 224 | 101 | 1046 |

*新たにナースセンターに登録された施設が12月に14施設、1月に5施設、2月に9施設ありました。

表2 有効求職者数

(人)

| | 職種別 | | | | | 雇用形態別 | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|
| | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 合計 | 常勤 | 非常勤 | 臨時 | 合計 |
| 12月 | 28 | 13 | 491 | 60 | 592 | 246 | 154 | 192 | 592 |
| 1月 | 27 | 14 | 496 | 52 | 589 | 247 | 157 | 185 | 589 |
| 2月 | 23 | 12 | 544 | 47 | 626 | 247 | 125 | 254 | 626 |

*新たにナースセンターに求職登録された方が12月に23名、1月に29名、2月に76名ありました。

表3 ナースセンター求職登録者の就業状況

(人)

| | 職種別 | | | | | 雇用形態別 | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|----|-----|
| | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 合計 | 常勤 | 非常勤 | 臨時 | 合計 |
| 12月 | 4 | 0 | 20 | 2 | 26 | 15 | 9 | 2 | 26 |
| 1月 | 3 | 1 | 28 | 6 | 38 | 15 | 16 | 7 | 38 |
| 2月 | 1 | 1 | 97 | 9 | 108 | 18 | 18 | 72 | 108 |

*就業者数にはナースセンター紹介・ハローワーク紹介・自己就業を含みます。

【離職看護師等届出制度「とどけるん」届出状況】

2015年10月～2022年3月までの届出状況

全国 166,373名 鹿児島県 2,753名

2022年1月の届出(鹿児島県) 18名

2022年2月の届出(鹿児島県) 74名

2022年3月の届出(鹿児島県) 40名

★過去1年間の届出状況は図1を参照

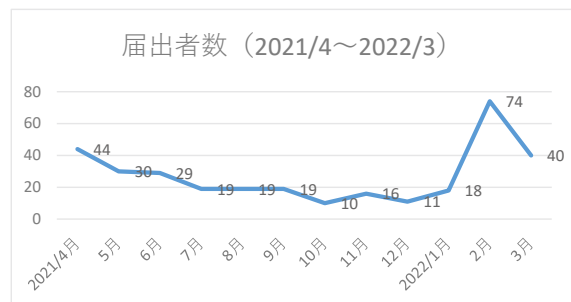


図1

鹿児島県ナースセンター

〔看護師等無料職業紹介所46-ム-010002〕

相談日:月～金 9:00～12:00 13:00～16:00

住所:〒890-0024 鹿児島市鴨池新町21-5

TEL:099-256-8025 FAX:099-256-8079

Eメール:kagoshima@nurse-center.net

ホームページ:https://k-kango.jp/



理事会報告

令和3年度 第6回 理事会

日時：令和4年1月15日（土）13：30～15：31
15名出席

- 協議事項
 - 1 基本方針に関する事項
 - 1) 令和3年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について
 - 2) 令和4年度教育研修計画（案）について
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 「性教育推進事業支援委員会」の名称変更及び「学会委員会」の名称及び機能変更について
 - 2) 鹿児島県保健看護研究学会の名称変更について
 - 3 管理的事項
 - 1) 令和4年度改選役員・推薦委員並びに2023年度代議員及び予備代議員の推薦状況について
 - 2) 職員の雇用について
 - 4 会員支援関係
 - 1) 令和4年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者について
 - 2) 令和4年度鹿児島県看護業務功労者知事表彰候補者の推薦について
 - 3) 令和4年度鹿児島県看護協会会長表彰者の推薦について
- 報告事項
 - 1 基本方針に関する事項
 - 1) なし
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 教育事業について
 - 2) 看護職員就業相談事業について
 - 3) 看護師養成施設等における実習補完事業について
 - 4) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務について
 - 5) 障害者支援福祉施設等の感染防止のための相談・支援等事業について
 - 6) 訪問看護供給体制確保推進事業について
 - 7) 複雑かつ多重課題解決に向けた事例検討会について
 - 8) 鹿児島看護基礎教育を考える会について
 - 9) かがしまSDGsパートナー推進制度登録について
 - 10) 看護師特定行為シンポジウムについて
 - 11) 保健師教育における大学院教育への意見書及び鹿児島国際大学看護学部の新設について
 - 3 管理的事項
 - 1) 理事会議事録について
 - 4 会員支援関係
 - 1) 令和3年度鹿児島県看護協会会員数及び令和4年度会員継続申し込み状況について

令和3年度 第7回 理事会

日時：令和4年3月12日（土）13：30～16：15
16名出席

- 協議事項
 - 1 基本方針
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業について
 - 2) 鹿児島県看護研修会館建替計画等について
 - 3 管理的事項
 - 1) 職員の人材確保について
 - 2) 規定等の改正案について
 - 3) 令和3年度補正予算案について
 - 4) 令和4年度予算案について
 - 5) 令和4年度鹿児島県看護協会通常総会及びプログラム並びに議案について
 - 6) 令和4年度役員・職能委員・推薦委員候補者及び令和5年度代議員・予備代議員について
 - 4 会員支援
 - 1) 鹿児島県看護協会会長表彰候補者の推薦について
- 報告事項
 - 1 基本方針
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 教育事業について
 - 2) 研修システムについて
 - 3) 看護師等養成所実習補完事業について
 - 4) 看護職員就業相談事業について
 - 5) 新型コロナに関連する地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整について
 - 6) 障害者支援福祉施設等の感染防止のための相談・支援等事業について
 - 7) 訪問看護供給体制確保推進事業について
 - 8) 基礎教育を考える会について
 - 9) 令和4年度看護の日・看護週間の取組について
 - 3 管理的事項
 - 1) 理事会・運営委員会議事録について
 - 4 会員支援
 - 1) 令和4年度鹿児島県看護協会名誉会員について
 - 2) 令和3年度及び令和4年度の鹿児島県看護協会会員数
- その他
 - ・理事会：令和4年5月13日（金）午前9時30分～
 - ・地区長情報交換会：同上 午前11時30分～午後1時15分
 - ・令和4年度日本看護協会通常総会代議員研修会：同上 午後1時30分～午後3時

※毎回、日本看護協会理事会報告、地区長情報交換会報告を口頭で、職能委員会報告、地区報告、委員会報告他団体会議報告、県外出張報告を書面で行っています。

鹿児島県看護協会の看護管理者メーリングリスト登録のご案内

管理者向け情報共有の方法の一つに、メーリングリストを活用しています。（コロナ関連、協力依頼の呼びかけ、管理者向け最新情報の提供など）
まだ、ご登録されていない施設は、是非ご登録してください。
メール：kakankyo@orange.ocn.ne.jp 宛に、件名「メーリングリスト登録希望」として、施設・職位・氏名をご記入のうえ、ご返信ください。



編集後記

新緑の心地よい季節となってきました。
新入職員も加わり、職場にエネルギーが満ち溢れていることと思います。
今こそ、看護の力を集結し鹿児島の看護を盛り上げていきましょう。
広報委員一同



看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう



公益社団法人
鹿児島県看護協会
Kagoshima Nursing Association

鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <https://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp